

【山岳部】

番号	学校名	行事名	実施山域	実施日	日数	参加 生徒数	引率者	ルート及び通過時間	登山アドバイザー帯同			天候(上段) 積雪量(下段)	特に配慮した点の特記事項	ヒヤリハット事例			
									人数	資格	要件			具体的内容	背景要因	改善策	委員からの助言
1	宇都宮白楊高等学校	春山登山	古賀志山 (宇都宮市)	令和6年 5月3日	1日 (日帰り)	4名	2名 金鋪良昭 佐久間利美 (部活動指導員)	JR宇都宮駅(8:30)＝森林公園駐車場 (9:30)・・・北登山口入口(9:45)・・・古賀志山山 頂(11:20)・・・御岳山頂(12:00)・・・森林公園駐 車場(13:20)＝JR宇都宮駅(15:25)	1名	日本スポーツ 協会公認 山岳コーチ1	第1号	晴れ Ocm	・生徒にとって久しぶりの登山であったため、 ペース配分と体調をよく確認しながら取り組 んだ。 ・転滑落注意の所は指導員との連携を図り 通らせた。	生徒1名が下山中の階段で 足を踏み外しそうになった。 (足を滑らせた。)	登頂後の安心感からの気の ゆるみと考えられる。また、下 りの速度が速かったことも考 えられる。	今後事前指導を改めて徹底する。また、それ ほど勾配が急な山でなくても上り下りのペース は一定に保つこことを徹底する。	問題なし
2	栃木女子 高等学校	令和6年度 岩場通過 トレーニング 登山	大小山 (足利市)	令和6年 5月3日	1日 (日帰り)	13名	4名 高橋秀明 池間明德 竹前睦 増山明美	阿夫利神社8:20・・・妙義山東分岐9:00 ・・・妙義山頂9:20・・・妙義山東分岐9:45 ・・・西場富士11:00・・・阿夫利神社11:50	1名	日本スポーツ 協会公認 山岳コーチ2	第1号	晴れ Ocm	・岩場の急斜面を通過する際は、引率やアド バイザーが分散して、注意喚起や助言を 行なった。 ・経験を積ませるために2年生を先頭にし、 岩場通過やルート選定等で時間がかかる可 能性があったため、コースの短縮等を視野 に入れて余裕のある行動ができるようにし た。→ルートを一部短縮した。	低山特有の、地図では読み切 れない踏み跡の不明瞭な分 岐に対して、ルート選定に時 間がかかった。	2年生が今までの山行を3年 生に頼りすぎてしまっていたこ と。	山行の際に、団体行動をするとともに部員一人 一人が主体的に考えながら行動できるよう、 日々の部活動の中で、指導を徹底する。	問題なし
3	大田原 高等学校	読図山行	安戸山 (那須塩原 市)	令和6年 4月27日	1日 (日帰り)	14名	2名 高梨和幸 小磯怜士	湯の香しおばら5:45集合、行動開始 6:10・・・A鳥居6:20・・・E(西分岐付近)8:40・・・ K山頂9:50・・・O御神木周辺12:10・・・墓沼登 山口13:10・・・湯の香しおばら13:50、ミーティ ング後14:30終了	1名	日本スポーツ 協会公認 山岳コーチ1	第1号	曇り のち 晴れ Ocm	・新入部員にとっては入部後初めての山行 であり、こまめに体調の確認をした。 ・前日に発熱した生徒1名と退部した生徒1名 は不参加のため、生徒14名の参加。	登山開始後まもなくC地点に て帯同者がトランシーバーを 落としていたことに気づいた。 生徒を含む本隊はC地点に待 機し、OB隊が引き返してト ランシーバーを無事確保した。 その後C地点で全員が合流 し、行動を再開した。予定では Q地点、R地点の読図を行う予 定だったが、読図も時間をか けて行ったこともあり、P地点 以後、予定を変更し、墓沼登 山口から下山して公道を歩い て湯の香しおばらに向かうこ とにした。	トランシーバーのクリップが外 れやすいため。	トランシーバーにクリップだけに頼らず、備え付 けられている紐も利用して装着する。	問題なし
4	宇都宮 高等学校	令和6年度 赤薙山登山	赤薙山 (日光市)	令和6年 6月16日	1日 (日帰り)	15名	3名 湯澤真一 鶴見勝司 富永孝昭	学校(6:30)・・・鶴田駅(7:05)・・・日光駅 (7:45)・・・キスゲ平園地(8:25)・・・丸山 登山口(8:40)・・・八方ヶ原(9:10)・・・ 丸山山頂(9:45)・・・焼石金剛(10:40)・・・ 赤薙山山頂(11:25)・・・小丸山展望台 (12:45)・・・レストハウス(13:05)・・・日光 駅(14:19)・・・鶴田駅(15:00)・・・宇高 (15:10)	1名	日本スポーツ 協会公認 山岳コーチ1	第1号	晴れ Ocm	・晴れて暑くなることが予想されたため、着衣 の調整や水分・塩分・糖分補給に注意させ た。 ・本格的な登山は初めての部員もいることか ら、体調不良や疲労感を感じたらすぐに知ら せることを確認した。 ・赤薙山頂で体調確認をしたところ、3名ほど の1年生が疲労感を訴えたため、計画書に 盛り込んだ通り奥社跡には行かず下山する こととした。	特になし	特になし	特になし	問題なし
5	大田原 高等学校	那須山行	赤面山 三本槍岳 (那須町)	令和6年 6月1日	1日 (日帰り)	13名	2名 高梨和幸 小磯怜士	旧白河高原スキー場登山口6:15集合、行 動開始6:40・・・リフト跡7:20・・・分岐8:05・・・赤 面山8:50・・・前岳9:25・・・赤面山分岐9:50・・・北 温泉分岐10:15・・・三本槍岳10:40・・・北温泉 分岐12:05・・・赤面山分岐12:30・・・前岳13:15 ・・・赤面山13:50・・・分岐14:20・・・リフト跡15:00 ・・・スキー場後登山口15:20	1名	日本スポーツ 協会公認 山岳コーチ1	第1号	晴れのち 曇り Ocm	・山行前日の5/31(金)、事前の下見とともに 手作りのジオラマを用いてルートの確認を綿 密に行った(5/31、急遽下野新聞社の取材 を受けることになり、その様子が翌6/1の朝 刊に掲載された)。 ・落石の危険がある場所があり、必ずヘル メットをつけること、緊急時のエスケーブル ート、山頂付近で強風があった場合など、さま ざまなリスクに対して事前に示し合わせた。	①集合場所を間違えた生徒 (保護者)がいた。 ②山頂で昼食をとった後、腹 痛を起こした生徒がでた。正 露丸を飲み、下山途中で携帯 用トイレで用を足し、問題なく 下山できた。 ③引率者が三本槍岳目前で 足がつり、力が入らない状態 となった(おそらくハンガーノ ックと思われるがこの時点では 本人の自覚がなかった)。登 山客がまあまあ通る細い上り 道だったため、休憩と水分・栄 養分をとったあと、副顧問の 荷物を登山アドバイザーが背 負い、すぐ近くまできていた三 本槍岳山頂に向かった。山頂 では昼食も含めてしばらく休 憩し、パーティの歩行速度を 緩め、本人の体調を全員で確 認しながら慎重に下山した。	①保護者会資料で説明をし、 二日前に集合地点の座標をリ マインド、また前日には生徒 に対して保護者のナビゲー ションをするように指示してい たが、入部間もない1年生の 生徒や保護者のため慣れて いなかったようである。 ②出発時の体調は良好。昼 食で食あたりに当たった様子 もなく、腹痛の原因は不明。 ③朝食はとってきており、体 調も特に問題なくスタートし たが、普段生徒のようにトレ ニングをしているわけではない ため体力不足だったかもしれ ない。また、「足がつる」「力が 戻らない」と訴えていたところ から下山時にハンガーノック と判断したが、山岳部の副顧問 になり日も浅く、低血糖に関す る知識が不足していた点は否 めない。	①山岳部の活動場所は他の部活動と大きく異 なり、少なくともその日の山行の計画は教員・ 生徒・保護者すべてが理解し共有していなけ ればならない。保護者会を開き計画の内容を 説明しているところではあるが、引き続き保護 者会で丁寧に説明を行い協力をおおぐ。 ②(同姓の生徒でコミュニケーションもとれる関 係性があったため)途中で腹痛で便意を感じて も、速やかに茂みに入れるよう事前にパーティ 全員で理解をしておいた。特に笹数に入る際 には崖下に落ちないようにするなど注意事項も共 有しておいた。 ③日々の部活動の時間でハンガーノックにつ いては生徒に指導していたが、なかなか正顧 問と副顧問が日々部活動に取り組む時間がと れず、副顧問の研修までは追いついていな かった。ハンガーノックは口数が少なくなっ たり、元気がないなどの兆候などがあることが多 いので、もう少し異変に早く気づけたらという反 省がある。 山行中に複数のトラブルが発生したが、ハン ガーノックである可能性が浮上してからは、腹 痛の生徒、シャリばての引率者に対してパー ティ全員(生徒・OB・参加保護者等)が一丸と なって行動できた。予定よりも1時間強遅かつ たが、無事に下山することができた。	足がつるなど疲労 がたまった場合 は、その者の荷物 を持つほか、糖分な どを適切に摂取す ること。高校生は歩 行速度が速いた め、引率者もトレ ニングが必要。
6	大田原 高等学校	夏山山行	一切経山 東吾妻山 (福島市)	令和6年 6月8日～ 6月9日	1泊2日	15名	2名 高梨和幸 小磯怜士	[6/8]浄土平ビジターセンター9:30・・・酸ガ平 小屋10:05・・・一切経山11:00・・・鎌沼12:45・・・ 浄土平ビジターC13:35・・・吾妻小富士13:50 ・・・浄土平ビジターC14:30・・・浄土平キャン プ場15:30 [6/9]キャンプ場7:35・・・浄土平ビジター C8:00・・・姥ヶ原9:00・・・東吾妻山9:45・・・鳥子 平11:30・・・高山12:40・・・分岐13:30・・・幕川温 泉14:30(下山)	1名	日本スポーツ 協会公認 山岳コーチ1	第1号	1日目:晴 れ 2日目:曇 り Ocm	・本隊は予定通りバスで移動したが、緊急時 の支援のためにOB会から車2台で追従して もらった。そのため、少し出発時間が遅れた が、1日目はゆとりをもった計画であるため特 に問題はなかった。 ・1年生にとっては初めての幕営となるが、そ れまでテントの設営や炊事等を何度も練習し ていたためスムーズに行動できた(生米の炊 飯も上出来だった)。いつもは人の少ない登 山道を歩くことが多いが、今回は人の多い山 域である。何度もすれ違いが生じるところ では隊を3つに分けて対処した。生徒はよく動 いてくれた。また、言葉の伝達がよくでき、大 きなパーティであることを感じさせない体 感で登山ができた。	初めての全装行動で1年生は バックキングに苦労していた。	練習で使っていたり、上級生 からレクチャーは受けていた ものの、実際に幕営一式を入 れて活動をしていないため試 行錯誤をしていた。	みんなで協力をして整えた。	問題なし

番号	学校名	行事名	実施山域	実施日	日数	参加生徒数	引率者	ルート及び通過時間	登山アドバイザー帯同			天候(上段) 積雪量(下段)	特に配慮した点の特記事項	ヒヤリハット事例			
									人数	資格	要件			具体的内容	背景要因	改善策	委員からの助言
7	宇都宮高等学校	令和6年度社山登山	社山 (日光市)	令和6年7月13日	1日 (日帰り)	14名	3名 湯澤真一 鶴見勝司 富永孝昭	学校(6:30)・・・歌が浜(8:30)・・・狸窪(9:15)・・・半月峠(10:00)・・・阿世湯峠(10:50)・・・社山(12:05～30)・・・阿世湯峠(13:15)・・・阿世湯(13:27～37)・・・歌が浜(14:25)・・・宇高(16:10)	1名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ1	第1号	晴れ Ocm	・前日までの雨によって濡れた木の階段や木の根は滑ることが予想されたため、足の置き場所には注意させた。 ・熱中症対策として、着衣の調整や水分・塩分・糖分補給に注意させた。 ・大人数のパーティなので、隊列が分裂しないようにペース配分には注意した。	・山頂手前で、1年生部員の登山靴のソールが剥がれていた。山頂の休憩時に申し出があり判明した。	・父親が購入し、15年以上履いていなかったものということで、見たところは新しく問題なく見えていたが、ソールの接着剤が化学反応で劣化していたものと思われる。修理用品の針金とガムテープで補修し、無事に下山はできた。	・登山靴のソールは履いていなくても、一般的に5～10年で加水分解を起こすと言われる。長いこと履いていないお下がりの登山靴には十分に注意させる。また、登山靴は装備品の中では最も重要なものでもあるので、入部と同時に新品を買うか、お下がりの場合は、ソールを張り替えてから山行に臨ませることを徹底させたい。	ソールの劣化はよくある事象のため、登山靴の事前確認を行うこと。
8	宇都宮高等学校	令和6年度白根山登山	白根山 (日光市、群馬県品川村)	令和6年7月20日	1日 (日帰り)	12名	2名 湯澤真一 鶴見勝司	学校(7:00)・・・菅沼登山口(9:00)・・・弥陀ヶ池(10:45)・・・白根山頂(12:00)・・・五色沼(13:30)・・・弥陀ヶ池(14:05)・・・菅沼登山口(15:15)・・・宇高(17:20)	1名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ1	第1号	曇り Ocm	・熱中症対策として、着衣の調整や水分・塩分・糖分補給に注意させた。 ・高所では休憩中などは風があると汗冷えて寒いので、防風防寒対策にも気を付けさせた。 ・山頂の北東斜面の岩場通過時は、全員ヘルメットを着用させ、三点確保で危険箇所は1人ずつ通過することを徹底した。 ・ガレ場は落石させないように慎重に歩くこと、ガレ場の下りは足裏全体で摩擦を利かせながら下ることを注意した。 ・大人数のパーティなので、隊列が分裂しないようにペース配分には注意した。	特になし	特になし	特になし	問題なし
9	宇都宮高等学校	令和6年度蝶ヶ岳夏山合宿	蝶ヶ岳 (長野県松本市)	令和6年8月3日～5日	2泊3日	15名	4名 湯澤真一 鶴見勝司 富永孝昭 大和田哲也	[8/3]学校(6:30)・・・バス移動・・・上高地(11:30)・・・徳沢(14:00) [8/4]3時半起床、朝食準備、幕営地出発(5:20)・・・2000m平(6:43)・・・長嶺山(8:27)・・・蝶ヶ岳(9:10)大休止・・・2000m平(10:34)・・・徳沢キャンプ地(12:22) [8/5]4時半起床。5時半朝食準備。幕営地撤収(7:45)・・・明神(8:25)・・・上高地バスターミナル(9:30)・・・(松本市内で入浴、昼食)・・・宇高(17:10)	1名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ1	第1号	晴れ Ocm	・気温が高く、熱中症が心配されたので、着衣の調整や水分・塩分・糖分補給に注意した。 ・上りは、1時間に10分のペースで小休止をこまめに取り、水分と塩分を補給させた。 ・大人数のパーティなので、隊列が分裂しないようにペース配分には注意した。	・事前ミーティングで、食糧計画中の米は各自で2合持参することと伝達していたが、生徒の半数近くが、共同購入品と勘違いして持参していなかった。最終日の朝食の冷や汁かけご飯が作れなくなり、予備食の冷や麦に切り替えた。 ・テント設営時にベグが不足し、フライシートの一部がテント本体に密着してしまったテントがあった。	・予行の炊事訓練でも、米は各家庭から持参させていたもので、ミーティングで確認すれば当然分かるはずだろうという見通しの甘さがあった。 ・ベグの管理がずさんで、テント毎に必要な数をもとめて管理できていなかった。	・事前ミーティングで確認するだけでなく、しおりにも個人で持参する食糧を分かり易く明記し、準備段階でも気が付くように改善する。 ・テント毎に必要な本数と予備のベグ数本を準備し、個別のベグ袋に入れて管理することを徹底する。	持参食料については適切に生徒に周知すること。
10	宇都宮白楊高等学校	夏山登山	男体山 (日光市)	令和6年8月11日	1日 (日帰り)	4名	2名 金舗良昭 佐久間利美 (部活動指導員)	日光二荒山神社(6:00)・・・男体山登山口(6:10)・・・3合目(7:00)・・・5合目(7:30)・・・8合目(9:30)・・・男体山山頂(9:50着 10:30発)・・・8合目(11:30)・・・5合目(12:00)・・・二荒山神社(13:00)・・・現地解散(13:45)	1名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ1	第1号	晴れのち曇り Ocm	・過去の山行の中でも難易度が高い山であるため、細かなミーティングをするともに危険個所の確認・持ち物と装備品を入念に確認した。 ・また、各自で体調管理と筋力トレーニング等をするなどして当日に備えた。	・生徒2名が下山途中で疲労が見られ、他メンバーよりも足取りが遅くなっており、2人とも5合目～3合目で足の踏ん張りがかかず2～3回尻もちをついて転んだ。幸い大きな転倒ではなかったため怪我はなかったが、速度を落としてゆっくりと下山した。	・体力不足や疲労もあった可能性がある。難易度の高い山であり長時間の登山であったため、普段よりもゆったりとしたペースを心掛け、こまめな休憩を取っていた。 ・また、標高が高く、比較的に涼しい条件であり、WBGT計の数値も高くなかったが、足をつるなどの症状が現れてしまった。	・今回は本人も歩行が可能であったため、水分補給やエネルギー補給等で済んだ。しかし、症状が重く本人が歩行も難しい場合には対象者を背負っての救急搬送も必要である。そのため、普段の部活動においてセルフレスキュー方法について生徒に学習させることも不測の事態に対応できて良いのではないかとアドバイスをいただいたため、実践していきたい。	問題なし
11	栃木女子高等学校	令和6年度三年生引退登山	日光白根山 (日光市、群馬県品川村)	令和6年7月20日	1日 (日帰り)	21名	4名 高橋秀明 池間明德 竹前睦 増山明美	栃女6:00＝借上バス＝日光白根ロープウェイ駐車場8:50～ロープウェイ～山頂駅9:10・・・七色平分岐10:00・・・12:00白根山山頂12:20・・・七色平分岐13:50・・・14:40山頂駅～ロープウェイ～日光白根ロープウェイ駐車場16:20＝借上バス＝栃女18:40	1名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ2	第1号	曇り時々雨 Ocm	・人数が多かったため、隊全体を把握できるよう引率教員とアドバイザーを分散させたパーティを編成した。 ・特に森林限界を越えたあと、休憩ごとに雷の情報を携帯電話や目視などで確認した。 ・特に森林限界を越えたあと、レインウェアの上着等で風対策をさせた。 ・特に森林限界を越えたあと、休憩中の体温の低下防止のため、休憩時間を短めにし回数を増やした。	特になし	特になし	特になし	問題なし
12	栃木女子高等学校	令和6年度夏山登山	安達太良山 (福島県二本松市)	令和6年8月7日～8日	1泊2日	17名	3名 高橋秀明 池間明德 竹前睦	[8/7]栃女10:30＝借上バス＝13:20フォレストパークあだたら(幕営) [8/8]フォレストパークあだたら8:20＝借上バス＝安達太良山ロープウェイ山麓駅9:00～ロープウェイ～山頂駅9:30・・・11:00安達太良山山頂11:20・・・馬の背11:50・・・14:30山頂駅～ロープウェイ～14:50山麓駅(温泉施設)16:10＝借上バス＝18:50栃女	1名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ2	第1号	曇り時々雨 Ocm	・出発の段階(安達太良山ロープウェイ山麓駅9:00)で、くろがね小屋が工事で閉鎖されているため、アドバイザーと相談し、馬の背手前から沼ノ平を見学した後、引き返しロープウェイを使って下山する計画に変更した。 ・特に森林限界を越えたあと、休憩ごとに雷の情報を携帯電話や目視などで確認した。 ・特に森林限界を越えたあと、レインウェアの上着等で風対策をさせた。	特になし	特になし	特になし	問題なし
13	大田原高等学校	塩原山行(前黒山)	高原山付近 (那須塩原市)	令和6年7月13日	1日 (日帰り)	7名	2名 高梨和幸 小磯怜士	大沼公園6:15集合、行動開始6:30・・・公道交差7:00・・・登山道入口7:20・・・山頂9:00・・・(休憩25分)出発9:25・・・登山口入口10:30・・・公道交差10:40・・・大沼公園11:00・・・調理実習・・・解散13:00	1名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ1	第1号	曇り(一部晴れ) Ocm	・林業で出入りする、地図には未記載の道が多数あるため、読図と研究計測を入念に行った。 ・今回から一年生をみのパーティであるため、要所場所でアドバイスをを行った。生徒はよく学んでおり、情報の共有はスムーズにできた。 ・以前低血糖を起こした副顧問は、対策としてトレッキングボール(ストック)を使用し、今回の山行は問題なく歩き切った。	・集合時間に遅刻する生徒がいた。	・那須塩原の土地勘がなく、時間の読み間違えをしたのかもしれない。	・当該生徒はこれまで4回の山行について、保護者の送迎でほとんど遅刻している。保護者会では必ず集合場所を地図やグーグルマップストリートビュー等で説明しているが、当該生徒の保護者は保護者会に欠席している(資料は生徒を通じて配布済み)。 ・また、山行前の生徒との最終ミーティングでは集合場所の確認もしているが、集合場所を間違えるということもあった。 ・本校ではさまざまな連絡は通知文(ペーパー)や生徒を通じて行うとともに、同時にLINEも併用し情報共有を行っているが、当該生徒の保護者は(LINEの活用には反対で)LINEではつながっていない。(生徒は日常的にLINEを使用しており、その保護者とラインでやりとりはしたことはある)。引き続き、山行前ミーティングで生徒によく連絡を共有するよう指導していく。	問題なし
14	大田原高等学校	文月山行(茶臼岳)	茶臼岳 (那須町)	令和6年7月27日	1日 (日帰り)	6名	2名 高梨和幸 小磯怜士	ファミリースキー場跡集合5:50、出発5:55・・・殺生石分岐6:35・・・山頂駅付近分岐8:30(休憩10分)・・・山頂9:15(昼食40分)・・・峰の茶屋跡10:30・・・峠の茶屋11:00	1名	日本スポーツ協会公認 山岳コーチ1	第1号	曇り Ocm	・十分に準備をして山行に臨むことができた。	特になし	特になし	特になし	問題なし

番号	学校名	行事名	実施山域	実施日	日数	参加生徒数	引率者	ルート及び通過時間	登山アドバイザー帯同			天候(上段) 積雪量(下段)	特に配慮した点の特記事項	ヒヤリハット事例			
									人数	資格	要件			具体的内容	背景要因	改善策	委員からの助言
15	大田原高等学校	葉月山行(黒尾谷岳・南月山)	那須岳(那須町)	令和6年8月18日	1日(日帰り)	7名	2名 高梨和幸 小磯怜士	乙女の滝集合5:30=== (それぞれ保護者の送迎)===黒尾谷岳登山口6:10・・・標高1230m付近で体調不良者、15分休憩後下山・・・黒尾谷岳登山口7:50・・・道路にて解散8:20	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	晴れ 0cm	・8/16に台風が接近した。8/15の朝、部員それぞれに天候の影響による実施の可否について意見を入力(Teams)するように指示し、15日の夕方にZoomでミーティングを行った。台風による影響を鑑みて、山行は18日に延期することにした。 ・8/18は予定通り開始したが、黒尾谷岳に向かうところで立ち止まったところ、立ち眩みをする生徒が現れ、その場で15分ほど休憩した。 ・体調は戻ってきたが、黒尾谷岳に向かった先にエスケープルートが無いことから、この日の山行を中止し、来た道を戻って下山した。	・読図のために立ち止まったとき、生徒1名が立ち眩み(貧血)を起こした。顔色が青くなっていたため顧問が声をかけ、その場で休憩にした。	・朝食は摂っており、出発前の体調確認でも特に問題はなかった。もともと貧血を起こしやすい生徒であるが、これまでの山行で具合が悪くなったことはなかった。	・引き続き、周囲のメンバーの体調確認を徹底する。	問題なし
16	宇都宮高等学校	令和6年度男体山登山	男体山(日光市)	令和6年9月14日	1日(日帰り)	11名	3名 湯澤真一 鶴見勝司 富永孝昭	学校(6:25)・・・鶴田駅(6:36)・・・日光駅(7:18)・・・二荒山神社中宮祠(9:00)・・・三合目(9:30)・・・四合目(10:05)・・・八合目(11:30)・・・山頂(12:20)・・・六合目(14:10)・・・三合目(14:43)・・・中宮祠(15:20)・・・日光駅(16:40)・・・鶴田駅(17:55)・・・学校(18:05)	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	曇り時々晴れ 0cm	・各自体調を管理するとともに仲間の体調の変化にも気を配り、何かあれば速やかに引率者に報告することを確認した。 ・熱中症対策として、着衣の調整や水分・塩分・糖分補給に注意させた。 ・山頂での休憩中は風があると汗冷えにより寒くなるので、防風防寒対策にも気を付けさせた。 ・6合目から8合目の岩場通過時は、全員ヘルメットを着用させ、転滑落に注意させた。 ・浮き石に注意し落石させないよう慎重な歩行と濡れた岩の通過は足裏全体で摩擦を利かせて下る点に注意した。	特になし	特になし	特になし	問題なし
17	宇都宮高等学校	令和6年度尾瀬ヶ原キャンプ	尾瀬ヶ原・尾瀬沼(群馬県片品村)	令和6年9月21日～22日	1泊2日	15名	2名 湯澤真一 鶴見勝司	[9/21]学校(6:50)・・・鳩待峠(10:20)・・・山の鼻(11:00)・・・竜宮十字路(12:00)・・・見晴キャンプ場(12:45) 幕営 [9/22]見晴キャンプ場(6:55)・・・沼尻休憩所(8:20)・・・尾瀬沼東岸(9:20)・・・三平峠(10:10)・・・一ノ瀬(10:50)・・・大清水(11:32)・・・学校(15:35)	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	曇りのち雨 0cm	・各自体調を管理するとともに仲間の体調の変化にも気を配り、何かあれば速やかに引率者に報告することを確認した。 ・雨天が予想されたので、雨具やザックカバーはザックの取り出しやすいところに入れておくよう指示した。 ・寝袋や着替えなど濡れては困る装備の防水対策について出発前にチェックし、不十分な者は直させた。 ・木道や敷石、落ち葉など雨に濡れると大変滑りやすくなるため、慎重に歩くことと、万が一の転倒時には、ザックをクッション代わりにして倒れることで頭部や手首を保護する姿勢を取るとよいことを確認した。	特になし	特になし	特になし	問題なし
18	宇都宮高等学校	古峰ヶ原高原全山縦走登山	古峰ヶ原高原(鹿沼市)	令和6年10月13日	1日(日帰り)	11名	2名 湯澤真一 鶴見勝司	学校(7:00)・・・古峰ヶ原峠(8:34)・・・三枚岩(9:22)・・・方塞山(9:50)・・・ハイランドロッジ(10:30)・・・横根山(11:05)・・・象の鼻展望台(11:50)・・・井戸湿原(12:20)・・・日鉱鉱山事務所脇登山口 (13:35)・・・「つつじの湯」で入浴(14:00～15:00)・・・学校(16:05)	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	晴れ 0cm	・気候が秋めいてきて涼しくなってきており、風が吹いているときの汗や雨による体の濡れは低体温症の危険があり、防風防寒対策にも留意すること。 ・井戸湿原からの下りは前半のハイキングコースとは異なって踏み跡の少ない登山道となるため、ルートの確認や足下の岩に注意して歩くこと。 ・井戸湿原周辺の木道は前日の雨で濡れていて滑りやすいため、靴底全体の摩擦を利かせながら歩行すること。	特になし	特になし	特になし	問題なし
19	栃木女子高等学校	令和6年度秋山登山	丸山、赤薙山(日光市)	令和6年9月15日	1日(日帰り)	15名	3名 高橋秀明 池間明德 増山明美	栃女6:30＝借上バス＝キスゲ平園地8:30・・・9:40丸山山頂10:00・・・分岐10:20・・・焼石金剛手前11:10・・・小丸山展望台11:40・・・12:00キスゲ平園地12:45＝借上バス＝14:30栃女	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ2	第1号	曇り 0cm	・人数が多かったため、隊全体を把握できるよう引率教員とアドバイザーを分散させたパーティーを編成した。 ・午後から天気が崩れる予報であったため、状況によっては赤薙山の山頂手前でも引き返すことを事前に周知した。→12:00頃にレストハウスに到着するよう、赤薙山樹林帯の手前で引き返した。	特になし	特になし	特になし	問題なし
20	大田原高等学校	歩荷山行(朝日岳)	朝日岳(那須町)	令和6年9月14日	1日(日帰り)	7名	2名 高梨和幸 小磯怜士	学校発5:30===峠の茶屋駐車場着6:30・行動開始6:55・・・峰の茶屋跡7:35・・・三斗小屋温泉8:45(休憩60分)出発9:45・・・隠居倉10:40(昼食40分)出発11:20・・・朝日岳12:00・・・峰の茶屋跡12:55・・・峠の茶屋13:20・解散14:00	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第1号	晴れのち曇り 0cm	・前日(13日)に、学校で幕営をし、翌日歩荷となる。13日は最高気温が30℃を超え、夕方から夕立ちがあった。雨がひどいときには、部室や部室周辺での幕営を考えていたが、テント泊ができる状況であったため予定通りテント幕営で翌日に歩荷を実施した。 ・また、14日の天気予報はおおむね曇り、2時間ほど小雨となっていた。三斗小屋温泉到着後にその後の行程を中止するかどうかを判断することになっていたが、晴れており、携行していた雷探知機も反応しなかったため、予定通りの行程で実施した。	歩荷での荷下ろしをした後、隠居倉から朝日岳に向かう途中で足をつった生徒が1名いた。症状の回復を待ち、回復後、当該生徒の荷物を部員で分担して、行動を再開した。	前日の学校での幕営において、テント内が暑く、よく寝られなかったと考えられる。気象庁によれば、夜間の一人用テント内の最低気温は27℃で、生徒のテント内には複数人いることから結構温度が上昇したと思われる。(熟睡できた生徒が2名、暑くてよく眠れなかったという生徒が5名いた)	歩荷に向けて20kgの負荷をかけてトレーニングを行ってきたが、暑いテント泊で体力を削られたことが考えられる。気象庁によれば、夜間の最低気温は20℃近くを記録していたが、昼間の温度が30℃を超えていたため、地表熱と体温がテント内の温度を高くしたのだろう。部員は6月の高原(福島県)の低温と、今回の9月の平地の残暑を経験し、断熱効果の少ないテント泊において体温調節の大切さを改めて感じたようである。	問題なし

番号	学校名	行事名	実施山城	実施日	日数	参加 生徒数	引率者	ルート及び通過時間	登山アドバイザー帯同			天候(上段) 積雪量(下段)	特に配慮した点の特記事項	ヒヤリハット事例			
									人数	資格	要件			具体的内容	背景要因	改善策	委員からの助言
21	大田原 高等学校	紅葉狩り(南 月山・姥ヶ 平)	南月山、白 笹山、姥ヶ平 (那須町)	令和6年 10月6日	1日 (日帰り)	5名	2名 高梨和幸 小磯怜士	沼ッ原湿原駐車場集合5:30=== (それぞれ保護者の送迎)===白笹山登山口出 発5:45・・・白笹山7:20、ミーティング10分・・・ 白笹山登山口8:30・解散9:00	1名	日本スポーツ 協会公認 山岳コーチ1	第1号	曇りのち雨 0cm	・生徒7名のうち、1名が英検、1名が体調不 良で欠席し、5名での山行となった。 ・この日の天気予報は秋雨前線により、終日 曇り(有料の天気予報でも同様)だった。一 方、温度が16℃程度で、強風の可能性はな いことから、事前に雨天実施の予定で準備し ていた。前線の位置によって一瞬でも晴れ間 がでることを期待して出発したが、ほどなくし て小粒の雨となった。 ・予め白笹山山頂で計画の再検討を行うこと にして、白笹山登頂後、再検討を行った。気 温は15℃を下回ることはなく、無風に近い状 態ではあったが、目的の紅葉は望めないこ と、白笹山は登頂できたこと、雨の中の山行 を経験できたことなどから、無理はせず下山 することにした。 ・8時半頃に下山したところ、これから登山を 開始するという人たちが多数いた。1年前に は4名の方が低体温症で亡くなった事故が あったので、ミーティングでは秋の天気、天 気図について登山アドバイザーから講話を いただいた。	降雨があったのでレインウエ アを着用した。その際、生徒1 名が、雨具だと思って購入し た上着が雨具ではなく防水で きていないことがわかった。結 果的には気温が15℃で、歩け ば汗がでるくらいの温度だっ たため(低体温症のリスクは 軽微だと判断し)、そのまま下 山した。	レインウェアの防水機能につ いての説明は受けていたもの の、防水しそうな見た目から 「多分大丈夫だろう」と思い込 んでしまった。	防水機能のあるウェアを購入する。帯同者から も「レインウェアは少しお金がかかってもいいも のを選んで欲しい」とアドバイスをいただいた。	問題なし

■中止となった登山計画

番号	学校名	行事名	実施山城	実施日	日数	参加 生徒数	引率者	ルート及び通過時間	登山アドバイザー帯同			中止理由
									人数	資格	要件	
1	大田原 高等学校	塩原山行	弥太郎山 (那須塩原 市)	令和6年 5月11日	1日 (日帰り)	16名	2名 高梨和幸 小磯怜士	南登山口 6:30・・・分岐1 7:50・・・分岐2 8:10・・・分岐3 9:35・・・弥太郎山 9:50・・・分岐3 10:20・・・西登山口 11:10	1名	日本スポーツ 協会公認 山岳コーチ1	第1号	・5/2の晴天時に下見を実施した。ルートを半分ほど進む と落ち葉が堆積する傾斜のきつい斜面に差し掛かる。ま た、この付近には土の無い岩肌に数十センチメートルの 落ち葉が堆積する場所がある。 ・この堆積した落ち葉は滑りやすく、滑ったときに発生し た落石は数十メートル下まで落下し、特に下山時は注意 を要する。 ・計画では登山口から別の登山口への一方通行のルー トとなっており、引き返す行程はないが、トラブル発生時 はここをエスケープルートとして引き返す可能性もある。 ・今回の山行は技術の低い1年生もいたり、夜露や雨に よって落ち葉がさらに滑りやすくなるなど、想定されるリ スクが大きい。そのため、今回は登山を中止することにし た。
2	栃木女子 高等学校	令和6年度 新入生 歓迎登山	丸山 (日光市)	令和6年 6月30日	1日 (日帰り)	24名	4名 高橋 秀明 池間 明徳 竹前 睦 増山 明美	栃女6:30→→借上バス→→ キスゲ平園地8:00・・・丸山山 頂9:50・・・分岐・・・赤薙山山頂 11:00・・・小丸山展望台 12:00・・・キスゲ平園地12:50 →→借上バス→→栃女15:00	1名	日本スポーツ 協会公認 山岳コーチ1	第1号	・顧問都合のため